

# 萩の里自然公園

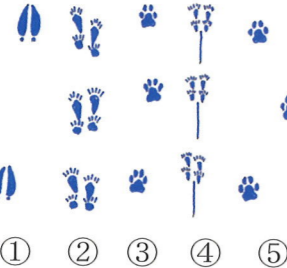
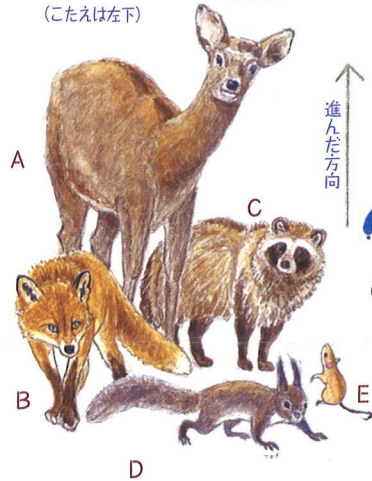


## ●ポイントから見える山々

### 動物の足あとクイズ

それぞれの動物は何番の足あと？  
(こたえは左下)

森のなかで動物の姿を見ることはめったにありませんが、地面に残された足あとから行動を知ることができます。



- Aエゾシカ→①
- Bキツネ→③
- Cエゾリス→⑤
- Dエノビリス→②
- Eアリスミ→④

### 森の鳥たち

春の繁殖の時期になると、雄は美しい声でさえずります。これは雌への合図となわばり宣言の意味があるといわれています。季節によって見られる鳥の種類がことなり、夏鳥(繁殖のため南方から渡ってきて、春から秋まで滞在)冬鳥(冬越しのため北方から渡ってきて秋から春まで滞在)留鳥(一年中見られる)に分けられます。

- クログミ チョチヨチヨビイ などとさえずる。他の鳥の声をまねる。
- モズ キーキーキーと高鳴きをする。尾羽根を回す。
- ゴジュウカラ 木の幹を逆さに回るように歩く。フィーフィーとさえずる。
- アオハト オーオーオヒのような声で鳴く。海水を飲む習性がある。
- キレンジャク チリリリ...と細い声で鳴く。群で行動する。
- アマガサ キョッキョツと鳴く。幹に縋るとまるときは尾羽根で体を支える。最もよく見かけるキツツキ。
- ツグミ ツイックツイツと二音節で鳴く。
- ハシトガラ チョチヨチヨとさえずる。黒いペレー帽と緑ネクラの体。
- ヤマガラ ニーニーと鳴く。シジュウカラ類と混じることがある。
- シジュウカラ ツツビツツビとさえずる。あなかに似る黒い線がある。

### 林床を彩る花々

- ツレンドウ(リンドウ科) 花期8月~10月。葉はつる状。実は葉とともに赤先まで残ることがある。
- マイヅルソウ(ユリ科) 葉のようすを羽を広げたツルの舞に見たてて名がついた。花期5月~7月。
- クチツボスミレ(スミレ科) 花期4月~6月。花は根元と茎の葉のわきから咲く。
- シラネアオイ(キンポウゲ科) 花期5月~7月 日本の特産種。
- オオハシゴソウ(キク科) 花期7月~8月 北アメリカ産産の帰化植物。
- オオウバユリ(ユリ科) 花期7月~8月 高さ2mになる。花が咲くまで何年もかかる。



### 秋の紅葉

気温が8℃以下になると葉と枝の間にしきり(輪層)ができ葉緑素が分解されて紅葉がはじまります。赤い葉は細胞にたまった糖分が赤い色素のアントシアニンに変わって色づきます。黄色い葉はすでに含まれている黄色い色素のカロチノイドが目立って色づきます。茶色い葉は茶色い色素のプロバフェンがたまって色づきます。

- ミズナラ (7ナ科)
- カツラ (カツラ科)
- イタヤカエデ (カエデ科)
- ヤマモミジ (カエデ科)
- クリ (ブナ科)
- ノブドウ (ブドウ科)

### カンバ類を見分けてみよう

カンバの仲間はいずれもよく似ていますが果種の向き、葉の大きさ、枝ぶり、幹肌などで見分けてみよう。

- タケカンバ (カバノキ科) 果種は上向き。葉の脈は7~12対が多い。枝は太い。
- シラカンバ (カバノキ科) 果種はたれ下がる。枝は黒いことが多い。幹肌は白い。
- ウグイスカンバ (カバノキ科) 果種はたれ下がる。葉は最大14cmで大きい。幹の皮目が目立つ。

- ハクウンボク (エゴノキ科) 花期5月~6月 幹肌は黒くすべらか。花の房を白い雲に見たてて白雲木と書く。
- フツキノソウ(ツゲ科) 花期5月。林床に敷きつめるように生える。常緑性で、つぼみのまま冬越しする。ときわに繁るめでたい木とされ富貴草と書く。
- ムラサキシキブ (クマツヅラ科) 花期8月~9月。美しい実を紫に染めたことと名がついたともいわれる。実は遅くまで残っている。
- ミズナラ(アナ科) 花期5月~6月。花ひらかない地味な花が咲く。水分が多いのでこの名がついた。
- キクコブシ(モクレン科) 花期4月~5月。実の形がぎざりこぶしに似ているのでこの名がついた。花はよい香りがある。

### 凡例

平成20年8月現在

	散策園路
	散策路入口
	展望スポット
	炭焼き窯跡
	現在位置図看板
	急傾斜ポイント
	高圧送電線